



CASSIOPEIA NKANI

Vol. 11 August 2022

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

JICA ルサカ郡1次レベル病院運営管理能力強化プロジェクト



バランス・スコアカード(BSC)ワークショップで、チャワマ総合病院のBSCの策定を支援する原氏 (2022年8月31日)

各病院は目標を再認識し、当事者意識を再確認する
バランススコアカードを策定

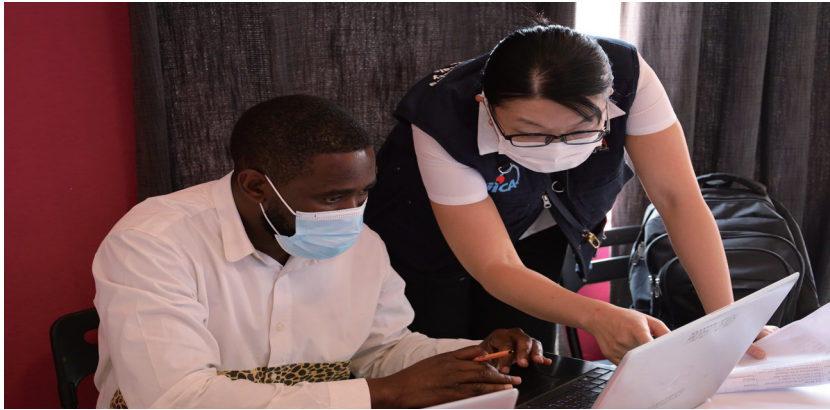
新規に開設された国立循環器病院との連携の可能性について議論

【フォトフォーカス】
展開推進事業でNCGMとUTHが作成した心血管造影CTガイドラインを保健省のDr. Makupeに供与



各病院は目標を再認識し、当事者意識を醸成する バランススコアカード(BSC)を策定

すべての医療機関の共通の目標は、質の高い医療を提供することです。その要諦は病院が目指す目標を明確にし、それを達成するための具体的な計画を作成し、それを実行するための強い組織を作ることです。今回、取り上げたバランススコアカード(BSC)は、目標管理の一つとして、組織のミッションとビジョンを具体的なアクションに落とし込むための一つのマネジメントシステムです。BSCの導入によって、測定可能な全病院的な綿密かつ明確な行動計画を提供することができます。



ニヤンガ専門家とチャワマ病院のMr. Kaboso(Deputy HA)と議論

人口増加、技術革新、新たな疫病、パンデミックなどの影響を受けた激動する環境の中で、医療機関が戦略的であることを止めるべきではありません。このことは、医療機関がより深く、戦略的に業務を遂行する機会を与えるはずで、この観点から、本プロジェクトでは、質の高い医療サービスを提供し、病院管理能力を強化するために、以下の4つの主要な側面に焦点を当てています。すなわち、病院管理、感染予防と管理、医薬品・医療機器の供給と管理、連携(保健省、州保健局、郡保健局、5つの総合病院)です。

病院管理に関しては、BSCをマネジメントのプラットフォームとしてとらえ、その策定作業を通して、より広く、より深く、そしてより戦略的に病院運営管理を行っていきます。プロジェクトは2年目の活動として、保健省チームと協力し、バランススコアカード(BSC)を有用なマネジメントツールとして、またPDCA(計画、実行、評価、改善)サイクルに則り病院経営の基本を理解することを目指しています。BSCは、「顧客」「学習と成長」「内部プロセス」「財務」の4つの視点に着目しています。これらは、各病院のミッションを引き出すものです。簡単に言えば、BSCはパフォーマンス管理とマネジメント管理を見える化し、簡素化するものです。

今回、プロジェクトでは、各病院ごとにBSCワークショップを開催

しました。チレンジェ総合病院は、ワークショップを最初に開催し、大成功を収めました。まず各病院の院長、事務長、プランナー等の幹部は、財務管理、人事、計画、内部および外部プロセスの管理、調整などの現状を発表しました。その後、この情報をもとにバランススコアカードを作成し、保健省のミッションである「できるだけ身近で、費用対効果の高い、質の高い医療サービスを公平に提供する」に合わせて、3年後の達成を目指すビジョンを打ち出しました。

このワークショップは、病院にとっても、自分たちの活動を振り返る良い機会となりました。BSCの活動を通じて、病院にとって何が重要なのか、チームとして何を目標しているのかを再認識し、保健省のミッションに沿った自分たちのビジョンを再確認し、チームワークの重要性に目覚めたということが、各病院からの得た評価でした。

すべての病院は、この活動に積極的に参加し、質の高い医療のために何をすべきなのか、目標に基づいて自ら考えることを通じて、BSCを策定するという今回の目標が達成されました。

BSCの作成に側面から関わったプロジェクトメンバーであるニヤンガ専門家と原専門家は、各病院スタッフの熱心な議論に大変感銘を受け、今後、既存システムのアップグレードに向けて、さらに計画の精緻化及び実行を病院スタッフと共に活動する事を楽しみにしていると述べました。



チパタ総合病院のスタッフがBSCワークショップでVisionとValueを発表。



マテロ総合病院で行われたBSCワークショップ



カニヤマ総合病院で行われたBSCワークショップ



5つの病院の中で最初に行ったチレンジェ病院でのBSCワークショップ

新規に開設された国立循環器病院(NHH)との連携の可能性について議論

ザンビア政府は、1年ほど前に国立循環器病院(National Heart Hospital, NHH)を開設しました。この施設は、NCD時代に備え、循環器疾患を患者の移送ではなく、現地で治療する必要性と、ヘルスツーリズムの成長を促進する必要性から設立されたものです。

今回の国立循環器病院の訪問は、JICAザンビア事務所長の訪問を受け、ルサカ郡総合病院病院運営管理能力強化プロジェクト(カシオペアプロジェクト)と提携する機会を得たことから実現しました。NHHからは、院長のDr. Chabwela Shumba、診療部長のDr. Agness Mtaja、病院事務長が参加し、チームを迎え入れました。チーフアドバイザーから、カシオペアプロジェクトの背景と、プロジェクトによる活動の実施状況について説明を行いました。NHH院長はプロジェクトチームに対し、経営の効率化のために施設内でKaizen活動や5S活動を策定し、実施することに関心があることを強調しました。院長は、プロジェクトの病院運営管理活動(プロジェクトのアウトプット1)の知見を活用することを楽しみにしていると述べました。さらに病院が開設初期から運営管理のベストプラクティスを実施することは非常に重要であると述べました。



プロジェクトチームは、NHHを訪問。(左→右)原専門家、Mr. Nkandu、Dr. Shumba、Dr. Mtaja、法月チーフアドバイザー



編集・デザイン: Mutuna Musonda

編集長: 法月正太郎

連絡先

法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane, Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka, 10101, ZAMBIA

E-mail: cassiopeia.project.zm@gmail.com

Website: <https://www.jica.go.jp/project/english/zambia/023/index.html>

PHOTO FOCUS: NCGMとUTHが展開推進事業を通じて作成された心血管造影CTのガイドラインを保健省のDirector of Clinical care and DiagnosticsのDr. Alex Makupeに供与した。(左→右)UTHのMs. Gloria、法月チーフアドバイザー、Dr. Makupe。